

## 水俣病の教訓を次世代に伝えるセミナー

# ～絶望から、ここに生きる希望づくりへ～

日時：2010年3月13日(土) 13:00～17:00

会場：オリベホール (地下鉄「六本木」駅下車 六本木側3番出口直結)

募集人数：250名 参加費：無料 主催：環境省

水俣病公式確認から53年が過ぎた2010年、水俣病の教訓を次世代に伝えるセミナーを開催します。

水俣と新潟から語り部が体験を伝えます。

ここに生きる希望を語り合うパネルディスカッションも行います。

「おいしい、手ごろな価格、ちゃんとつくっている」物産の販売もあります。

水俣と新潟の元気を届けます。

人は、ボールを前に投げためるために、うしろにいつたん振りかぶる人は、高く上にとぶために下に一度かがむ前や上を未来、後ろや下を過去だとすれば人は、未来のために過去を振り返る。ここに生きる希望をつくるために。

水俣はおきたことを明らかにしながら、犠牲を無駄にしない社会づくりに役立て未来に生きる希望をつくる

あきらめてはならないことがある。失ってはならないことがある。希望である。受難を超えて、ここに生きる希望をつくってきた動きを伝えたい。ここに強く生きてきた人たちの姿を伝えたい。



## プログラム

13:00～ 挨拶・開催趣旨説明  
水俣病を取り巻く現状について  
環境省 特殊疾病対策室長 椎葉茂樹

13:15～ 時代の証言 水俣病語り部講演  
水俣地域語り部 杉本 雄  
新潟地域語り部 小武節子

14:25～ 水俣の歌のコーナー  
シンガーソングライター 柏木敏治

15:15～ 事例紹介・パネルディスカッション  
「絶望から、ここに生きる希望づくりへ」

●コーディネーター

吉本哲郎 (地元学ネットワーク主宰)

●パネリスト

小川弘幸 (阿賀野川え～とこだプロジェクト)  
金刺潤平 (NPO 植物資源の力/水俣浮浪雲工房)  
田中利和 (田中商店)  
沼田悦子 (ごみ減量女性連絡会議)  
旗野秀人 (冥土のみやげ企画)  
弘津敏男 (水俣病センター相思社)

17:00～ 閉会



## 杉本 雄

水俣市立水俣病資料館 語り部  
社会福祉法人さかえの杜 理事長

1939年生まれ。水俣市在住。1981年に水俣病と認定される。漁師。水俣病が奇病として扱われていた頃、言われなき差別を自分のみならず家族が受けた。水俣病で不自由になった体に鞭打ち漁に出ても魚が売れず、生活に苦しみながらも家族とともに頑張ってきた。



## 小武 節子

新潟県立環境と人間のふれあい館 語り部

1936年新潟市生まれ。1957年、新潟市津島屋に嫁ぎ、義母の実家が網元だったので毎日のように魚を食べた。1973年に水俣病の認定申請するが、1975年に棄却。1982年、新潟水俣病第二次訴訟の原告となる。2001年、新潟県立環境と人間のふれあい館の開館と同時に語り部となる。



## パネルディスカッション・コーディネーター

## 吉本 哲郎

地元学ネットワーク主宰  
鹿児島大学生涯学習教育センターリサーチアドバイザー

1948年水俣生まれ。1971年に水俣市役所に入り、都市計画課、企画課、環境対策課長、農林水産課長、水俣病資料館長などを歴任し退職。ないものねだりをやめてあるものを探し役立てていく、自分たちのことは自分たちでやるという地元学に学ぶ地元学を提唱し国内外で実践している。



## 水俣の歌 披露

## 柏木 敏治

シンガーソングライター

1955年生まれ。森林組合職員。20代前半、水俣病をテーマにした歌を歌う東京のフォークシンガーに出会いカルチャーショックを受ける。地域に根ざした水俣の歌をつくりはじめ現在に至る。胎児性水俣病患者さんの詞に曲をつけた歌や交流から生まれた歌を歌う。



## パネリスト

## 金刺 潤平 (NPO 植物資源の力/水俣浮浪雲工房)

1959年静岡県生まれ。大学卒業後、胎児性、幼児性水俣病患者らと紙漉きと機織の工房を始める。水俣病被害者を中心に水俣湾埋立地に野仏を祭る活動をする「本願の会」事務局長も務める。

## 弘津 敏男 (財団法人水俣病センター相思社)

1951年大阪市生まれ。1985年水俣生活学校に参加。1986年より水俣病センター相思社職員となり、1987年から患者担当。2000年より相思社理事、総務を兼務。

## 旗野 秀人 (冥土のみやげ企画/新潟水俣病安田患者の会)

1950年新潟県安田町(現阿賀野市)生まれ。高校卒業後、家業の大工を継ぎ、現在、旗野住研取締役専務。1989年 映画「阿賀に生きる」制作に全面協力。地蔵の建立、絵本作成など、幅広く活動している。

## 田中 利和 (株式会社田中商店)

1953年熊本市生まれ。水俣エコタウン内で、びんのリユースとリサイクルを手がける(株)田中商店の専務取締役。水俣エコタウン協議会会長、水俣市環境モデル都市推進委員会副委員長他

## 沼田 悦子 (ごみ減量女性連絡会議)

1946年水俣市生まれ。岐阜で育つが、結婚を機に水俣に戻り現在に至る。水俣市の「ごみ減量女性連絡会議」及び、町と村をつなぎ活性化を図る「元気村女性連絡会議」のメンバーとして活躍している。

## 小川 弘幸 (阿賀野川え〜とこだプロジェクト/NPO 法人「文化現場」)

1962年新潟県新潟市(旧新津市)生まれ。民間運営による美術館勤務などを経て、92年イベントプロデューサーとして独立、文化現場を設立。新潟の独自性を活かしたさまざまな分野の文化活動に取り組んでいる。

## 会場ロビー展示企画

### 水俣特産品の試食・販売!

豊かな海と山に囲まれた水俣の農産品・水産加工品などを会場にて紹介し、サラダ玉ねぎ、デコボン、寒漬け、太刀魚みりんぼし、いりこなど、試食・販売します(紹介する品は気候等により変更があります)。

### 阿賀野川え〜とこだプロジェクトを紹介!

かけがえのない自然を二度と汚さず、新潟水俣病の教訓を未来へ伝え、誰もが安心して暮らしていける地域社会の実現を目指すとの新潟県の提唱のもと、2007年度からスタート。阿賀野川流域全体を丸ごとと野外博物館に見立て、流域が新潟水俣病と向き合い乗り越え、地域の力を高めていく新しい地域づくりを目指しています。

### セミナー参加者「毛髪水銀測定」無料実施!

自分の体内に、今、どのくらいの水銀が蓄積されているか。ほんの少しの毛髪(約3cmであれば10本程度)で測定することができます。会場で、毛髪水銀の測定を無料にて体験していただけます。分析は、国立水俣病総合研究センターで行い、結果は後日、郵送でお届けします。

### 参加申込み方法

ホームページ (<http://mizumidori.jp/minamata/>) の参加申し込みフォームもしくは、FAX、メールにて、氏名・郵便番号・住所・電話番号を記載の上、お申し込みください。 ※希望者多数によりお断りする場合があります。

### お問い合わせ・参加申込み先

(財)水と緑の惑星保全機構

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-16-2, 3F  
TEL : 03-3433-4454 FAX : 03-3433-4510  
URL : <http://mizumidori.jp/minamata/>  
E-mail : [minamata2010@mizumidori.jp](mailto:minamata2010@mizumidori.jp)